

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第1区分
 【発行日】平成22年4月8日(2010.4.8)

【公表番号】特表2009-538413(P2009-538413A)
 【公表日】平成21年11月5日(2009.11.5)
 【年通号数】公開・登録公報2009-044
 【出願番号】特願2008-557683(P2008-557683)
 【国際特許分類】

G 0 1 C 21/00 (2006.01)

G 0 8 G 1/005 (2006.01)

【F I】

G 0 1 C 21/00 Z

G 0 8 G 1/005

G 0 1 C 21/00 G

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月17日(2010.2.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項10】

ナビゲーションデバイスのプロセッサ上で実行することで、前記ナビゲーションデバイスに請求項1乃至9の何れか1項に記載の前記方法が有する各工程を実行させるコンピュータプログラムを格納したコンピュータ可読媒体。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項11

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項11】

ナビゲーションデバイスであって、

前記ナビゲーションデバイスが最後に接続された車両における位置を格納するためのメモリと、

前記ナビゲーションデバイスが車両に接続されていることを判断し、

前記ナビゲーションデバイスが接続されている間、前記メモリへの前記位置の格納を行い、

前記ナビゲーションデバイスの現在位置と、前記ナビゲーションデバイスが最後に接続された前記車両における前記格納した位置と、に基づいて、前記車両へのルートを判断するプロセッサと

を備えることを特徴とするナビゲーションデバイス。

【手続補正3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項13

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項13】

更に、

前記ナビゲーションデバイス上に、前記車両への前記判断されたルートを表示する表示デバイスを備えることを特徴とする請求項 1 2 に記載のナビゲーションデバイス。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 4】

前記促すデバイスと前記表示デバイスとは統合されていることを特徴とする請求項 1 3 に記載のナビゲーションデバイス。